

日本ELVリサイクル機構 ニュースレター (ELV Newsletter)

《編集・発行責任者》日本ELVリサイクル機構 広報部会長 永田 則男

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構 〒105-0004 東京都港区新橋3丁目2-2 一美ビル5F

Tel:03-3519-5181 Fax:03-3597-5171 メール: jaera-homepage@elv.or.jp

URL: <http://www.elv.or.jp/>

自動車リサイクル士制度 関連ニュース①

東北ブロックにて認定講習会を開催



[写真:受講者の方々の様子]

7月23日(水)から24日(木)にかけて、東北ブロック自動車リサイクル士制度認定講習会が宮城県仙台市にて開催されました。平成26年度に入って初の認定講習会。それにふさわしく、東北ブロックの認定講習会は定員60名を上回る申し込みがあり、勢いのあるスタートとなりました。

受講者数は会場収容人数との兼ね合いで63名となり、受講者の内訳は、管理士47名／実務士上級12名／実務士初級4名で、そのうち非会員は24名(38%)でした。当日は東北の経済産業局や環境事務所、各自治体担当者など行政から8名の出席がありました。

講師については、「自動車リサイクル制度について」(法律)という項目を東北経済産業局の中目課長補佐が担当され、それ以外の部分は東北ブロックのインストラクターが全6名ですべてを担当しました。



[写真(左):講師を務めてくださった東北経済産業局の中目 賢治 課長補佐
写真(右):ご挨拶をくださった東北地方環境事務所の小野寺 秀明 課長]

また、今後の講習会をよりよいものにしていくため、本年度より参加者の皆様にアンケートへのご協力をお願いしています。その結果、行政の方の声として、「自動車リサイクル制度の概要について、(中略)もう少し時間をとるか要点をしぼるかすると理解しやすくなるのではないかと思います」「自動車リサイクルの一連の流れと、各工程において具体的にどのようなことを行うべきなのか、わかりやすく説明していただき、大変参考になりました」といったものがありました。受講者の方々にもアンケートにご協力いただいていますので、データを取りまとめて今後の参考にしていきます。

(次ページに続く)→

目次

巻頭言 1
トピックス	
自動車リサイクル士制度関連ニュース 1~2
ELV機構活動ニュース 3
会員活動ニュース 4
鉄スクラップ最新情報 5
行事予定・お知らせ 6
編集後記 6

巻頭言

先日の総会において役員の変更が行なわれましたが、広報部会のメンバーでは永田氏、伊地知氏、平地氏の3名が理事に選任され、永田氏は広報部会長、伊地知氏は九州ブロック長兼、リサイクル技術部会の委員、平地氏は東北ブロック長兼、ブロック長会議長となりました。平地氏は常任役員として3か月に1回行われる常任役員会にも参加します。また、伊丹氏は日本自動車リサイクル研究所の準備室長のお立場で、広報部会にも委員として参加していただいております。

毎月行われる広報部会の他にこれらの役職を兼任されており、大変かとは思いますが、その分、密度の濃い情報がお伝えできるかと思っております。

(広報部会 小宮山 敬仁)



当日は、自動車リサイクル士制度認定講習会とともに、東北ブロック会議も併催されました。

ブロック会議では、ELV機構本部からの活動報告及び活動計画の発表、東北ブロックからの活動報告及び活動計画の発表、共同出荷事業や東北ブロック地域団体交流会などの活動に関する審議が行われました。

写真: 当日講師を務めたインストラクター全6名

(左から) 三浦 明弘 インストラクター
竹内 昌彦 インストラクター
中野 正和 インストラクター
江原 祐孝 インストラクター
呉宮 廣哉 インストラクター
渡辺 寛樹 インストラクター

報告・審議の後、当日講師を務めた東北ブロックのインストラクターにも参加してもらい、各自、講習会の感想を述べ合いました。インストラクターからは、「まだまだ勉強不足なので、また機会をいただいたら今回以上に頑張りたい」「受講者からお疲れ様と声をかけていただき、感動した」などといった感想があり、次回に向けてやる気に満ちた姿勢が印象的でした。

今回の自動車リサイクル士制度認定講習会は、東北ブロックのインストラクターの方々をはじめ、ブロック長、地域団体長、関係者の皆様が力を合わせた結果、非常に充実したものとなりました。アンケートや当日に皆様からいただいたご意見を活かして、今後よりよい講習会が作り上げられていくことでしょう。

自動車リサイクル士制度 関連ニュース②

九州ブロック認定講習会の申込受付を開始

九州ブロックの「自動車リサイクル士制度認定講習会」の申込受付を開始しています。申込期限は8月8日と日にちが迫っていますので、受講を検討されている方は、お早めにお申し込みください。

開催概要は以下のとおりです。お申し込み方法や当日のタイムスケジュールなどの詳細な情報については、<http://www.elv.or.jp/0-0-601.html> をご参照ください。(申込期限: **8月8日(金)まで**の消印有効)

■開催概要

資格の種類	開催日時		受講料	
	1日目	2日目	ELV機構会員	ELV機構非会員
自動車リサイクル実務士初級 (引取・フロン類回収工程)	8月22日(金) 10:00 ~ 17:00	なし	8,000円(税込)	11,000円(税込)
自動車リサイクル実務士上級 (引取・フロン類回収・解体・破碎工程)	8月22日(金) 10:00 ~ 16:10	8月23日(土) 9:30 ~ 13:20	16,000円(税込)	27,000円(税込)
自動車リサイクル管理士	8月22日(金) 10:00 ~ 16:10	8月23日(土) 9:30 ~ 17:00	22,000円(税込)	37,000円(税込)

【場所(全資格共通)】

福岡県中小企業振興センター / 〒812-0046 福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15
※1日目と2日目で会場内の教室が異なります。(1日目=401会議室、2日目=2階ホール)

【資格有効期限(全資格共通)】

認定を受けた日から2年後の年度末まで(更新制)

[例] 認定日:平成25年8月23日 → 有効期限:平成28年3月31日まで

北海道・東北・関東3ブロックで合同会議を開催



7月12日(土)に北海道・東北・関東3ブロック合同会議を開催いたしました。当日は来賓として、東北経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・リサイクル課 課長 中井孝明様にご参加をいただきました。

ブロック会議の内容といたしましては、本部活動方針について河村代表、共同出荷事業について資源循環委員会 保坂委員長、本部活動報告(自り士講習会、環境省公募、海外からの研修視察受け入れなど)について吉川副代表からご報告いただきました。短い時間ではありましたが、質疑応答や意見交換などを通じて、参加者の皆様と有意義な時間を持つことができました。

共同出荷事業については、3ブロックで秋口をめどに実行していくことを決議いたしました。この3年間継続してきたことをもとに、持続的に取り組むことの意義を参加者全員で共有いたしました。また、意見交換の中では、地域活動の温度差の問題をご提起いただき、様々な先進的な活動をしておられる地域団体長から事例をご報告いただきながら、地域団体活動の重要性を再認識させていただきました。

中井課長からのご挨拶の中に、「地域資源」という言葉がございました。東北には、鉱山・東北大学・精錬工場などが存在し、様々な連携で今後の自動車リサイクルの新たな兆しが見えてきました。

[写真(上):東北経済産業局 中井孝明課長
写真(下):当日の会議の様子]

多数の参加をいただいた3ブロック合同会議で、新たなブロック会議の在り方を実感いたしました。今後ブロックの垣根を超えて、より多くの会員さんが参加しやすいような意見交換の場をつくっていけたらと思います。今年のスローガン「ELV機構の事業進化を」を感じさせる新たなスタートの合同会議でした。(ブロック長会議長 平地 健)

中部・北陸ブロック会議を開催



日本ELVリサイクル機構 中部・北陸ブロック会議が愛知県の株式会社コマゼンで7月18日に開催されました。来賓として経済産業省自動車リサイクル室長・金澤信様、自動車再資源化協力機構・三淵亮様、河村二四夫代表理事をお招きし、中部・北陸ブロック会員総勢27名で始まりました。

[写真:参加者への報告を行う河村代表理事]

最初に、自動車再資源化協力機構の三淵様より「フロン類・エアバッグ類適正業務の重要ポイント」をテーマにご説明いただき、河村代表理事より今期事業計画、共同出荷事業、自動車リサイクル士、自動車リサイクル法見直しについてご報告いただき、「ELV機構の会員であることが優良企業の証」となるよう活動を進め、行政機関や社会から信用を得た上で主張できる団体にしていきましょうとお話いただきました。懇親会では、多くの質問が飛び交い有意義なひとときとなりました。

(株式会社コマゼン 木村 香奈子)

ブロック会議開催日程

7月11日(金)

- 近畿ブロック会議

7月12日(土)

- 北海道・東北・関東3ブロック合同会議

7月18日(金)

- 中部・北陸ブロック会議

7月19日(土)

- 九州ブロック会議

7月24日(木)

- 東北ブロック会議

ご参加くださった皆様、
ありがとうございました。



東北大学主催・ELV機構協賛のセミナーが開催



〔写真(上):講演中の東北大学中村崇教授
写真(下):抽出技術拠点の見学会の様子〕

7月12日、東北大学(宮城県仙台市)にて、東北発素材技術先導プロジェクト 希少元素高効率抽出技術領域主催でELV機構会員に向けたリサイクル・セミナーが開催されました。主に自動車コンピューター基板における希少金属回収をテーマとしたセミナーです。自動車リサイクルの中でも、特に希少金属を含んだ電気系、電子系のスクラップをE-Scrapと名付け、「自動車からのE-Scrapリサイクルの現状」を東京大学の村上進亮准教授、「自動車からのE-Scrapのリサイクル技術」を東北大学の中村崇教授よりご講義いただきました。

基板から希少金属を回収する技術はかなり進んでおり、現在は電気パルスを応用した破碎が注目されています。この技術を使うことによって、より短時間で基板から希少金属を回収できるとのことです。しかしながらコストが掛かることから実用できるまでもうしばらく時間を要するとのこと。いまできる重要なことは多くの電子基板を各社が回収し共同で出荷できる組織体制を早期につくることだと中村教授は話されておりました。

ELV機構からは、木内総務部会長より、回収高度化事業として展開されたコンピューター基板とネオジム磁石の回収報告を「ELVからの電子基板とモーターの回収のポイント」といった演題で発表が行われました。

また、セミナー後、電子基板から希少金属を回収するための最新設備の見学会も行われました。実際に高電圧プラズマ破碎機によって基板から分別された希少金属を見学しながら、その高度な技術に、参加された会員は今後への大きな期待を寄せていました。

東京都組合総会にて自再協が講演を実施

7月6日(日)に東京自動車リサイクル協議会の総会が行なわれ、自動車再資源化協力機構の柴田業務部長に「フロン類・エアバッグ類適正業務の重要ポイント」と題して講演していただきました。

新車販売が年々増加しているものの、輸出抹消登録件数も平成23年で94万台、平成24年で114万台、平成25年で137万台と増えており、使用済自動車の引取台数が平成24年以降340万台で推移する要因の一つと思われることをグラフで解説していただきました。また、フロン類・エアバッグ類について、引取時の間違いが多い装備確認の例(※1※2)、車上作動処理時の注意事項やリコール車台の取扱い等についてイラスト等を交え説明していただき、フロン類回収業者、解体業者として基本的に守らなければいけないことを改めて再確認することができました。

※1 フロン類装備確認での間違い例

- 使用済自動車引取時に、マイナスドライバー等でチャージバルブを押し、ガスが噴出しない場合に装備「無」で引き取っている。
- 事故車の場合に自動的に装備「無」で引き取っている。

※2 エアバッグ類装備確認での間違い例

- 運転席・助手席にエアバッグが無ければ装備「無」で引き取っている。
- 運転席・助手席が展開されていれば装備「無」で引き取っている。
⇒プリテン等他の部位も展開有無の確認が必要。
- ハーフカット輸出車は装備「無」で引き取っている。

装備確認担当者に再周知・注意徹底をお願いします。

(株式会社 大八商会 小宮山 敬仁)

■ 7月第4週(24日)の鉄スクラップ動向 ■

[提供 / 日刊市況通信社]

韓国・現代製鉄、輸入価格引き下げ H2・FOB32,500円提示

韓国向けの鉄スクラップ輸出価格が続落し、韓国側のH2に対する指値が1トンあたりFOB33,000円を割り込んだ。日本側商社・シッパー筋は安値成約に慎重な姿勢だが、輸出価格の続落は国内相場に影響を与えそうだ。

韓国鉄鋼大手の現代製鉄は23日、日本側商社・シッパー筋に対し、H2・FOB32,500円を提示した。前回の成約価格33,300円から800円の値下がり。33,000円を割り込むのは5月第5週以来8週間ぶり。現代製鉄は日本国内市場が下落基調にあることから輸入価格の値下げを図ったと見られる。

ただ、24日時点の関東地区のH2浜値は32,000円中心、高値32,500円見当にあり、現代製鉄の指値は、足元の浜値を500～1,000円下回る水準だ。日本国内では先安見通しが強いものの、今回の成約分の輸出実行時期は市中発生量の薄い8月～9月前半。安値で集荷できるかどうか不透明な時期にあたるため、新規成約には慎重な姿勢だ。

現代製鉄の新断の指値はFOB36,300円、HSはFOB35,300円で、関東の浜値と同水準を維持した。



【関東地区】電炉筋の値下げ散発、浜値も安値寄りの動き

7月24日の国内スクラップ炉前実勢価格

		H2		気配
関東	北関東	32,000	～ 33,000	弱含み
	南関東	32,000	～ 33,000	弱含み
名古屋		31,500	～ 33,000	弱含み
関西	大阪	32,000	～ 33,500	弱含み
	姫路	31,500	～ 32,000	弱含み

関東地区の鉄スクラップ市況は、電炉筋の値下げが散発し安値寄りの動きだ。電炉2事業所の夏季集中炉休がすでに始まっており、7月第5週からは10事業所が炉休に入る。このため、域内には先安見通しが強まっている。H2炉前実勢価格は32,000～32,500円中心、高値33,000円見当。また、湾岸ヤードの浜値も安値寄りの動きとなっている。H2浜値は32,000円中心、高値32,500円見当。上値は船積み中の筋の一部にとどまっている状況だ。

【東海地区】上級品種のメーカー高値修正が一巡、気配はなお弱含み

名古屋地区の市場は、7月第4週末から翌週にかけてメーカー3社が相次いで炉休入りとなるため鉄スクラップ消費はさらに減少する見通し。メーカーの上級品種の高値修正下げは一巡したが、夏季減産による消費後退の影響から気配はなお弱含みと見られる。東京製鉄田原工場は10日に500円値下げし、陸・海上特級を33,500円とした後は様子見を続けている(24日現在)。H2炉前実勢価格は31,500～32,500円中心、高値33,000円見当。

【関西地区】複数メーカーの炉休を控え、警戒強まる展開

西日本地域の鉄スクラップ市況は、7月第3週に下落もなお弱含みで推移している。域内では7月第4週から翌週にかけて複数電炉の定期炉休の予定があり、需要減退が一気に進むことから、先行き警戒を強めたまま月末入りとなる公算が高い。H2炉前実勢価格は32,000～33,000円、一部高値33,500円。姫路地区では山陽特殊製鋼が夏季休業を理由に、7月24日～8月7日19時まで全面荷止めを実施。H2炉前実勢価格は31,500～32,000円。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、7月24日午前時点のもの)

行事予定

■8月の主な予定

8月4日(月)

- ・中国・四国ブロック会議

8月7日(木)

- ・第2回 資源循環委員会
- ・第3回 リサイクル技術部会

8月8日(金)

- ・第2回 資源循環委員会
- ・第4回 常任役員会

8月21日(木)

- ・第5回 広報部会
- ・第32回 産業構造審議会

8月22日(金)

- ・九州ブロック 自動車リサイクル士制度認定講習会(1日目)

8月23日(土)

- ・九州ブロック 自動車リサイクル士制度認定講習会(2日目)



お知らせ

■会員数(2014年7月現在)

総数 685社 / 会員 658社、賛助会員 27社

■新規ご入会者のご紹介(2014年7月ご入会)

会員

京都府八幡市
「株式会社 ピー・エス・アイ・コーポレーション」様
山口県山陽小野田市
「MACO TRADING (マコトレーディング)」様



■自動車リサイクル士合格実績

平成25年度 合格実績

資格の種類	合格者数
自動車リサイクル実務士初級 (引取・フロン類回収工程)	4名
自動車リサイクル実務士上級 (引取・フロン類回収・解体・破碎工程)	15名
自動車リサイクル管理士	626名

編集後記

7月23日より二日間にわたり、宮城県仙台市で東北ブロック・自動車リサイクル士制度認定講習会が開催されました。昨年に引き続き2年目となるこの認定講習会、リサイクル業者の関心度が問われるとあって、スタッフはいささか緊張した面持ちでこの日を迎えました。▲しかしそのような心配は杞憂にすぎなかったようです。会場はみごとに受講者で埋まりました。インストラクターの講義も板についてきたようで、今年度、初の講習会は幸先の良いスタートを切ることができました。▲このような成果を上げることができたのも、一重にインストラクターの皆さんを始め、事務局や関係スタッフの並々ならぬ努力の賜といえます。▲「とにかく人を集めなければ話にならない」ということで、各地域団体長への呼びかけはもちろんのこと、さらに独自で東北六県のリサイクル業者約500社に案内をダイレクトメールで発送し受講者を募りました。成果の裏ではこうした陰の努力があったことを我々は知っておく必要があります。▲こうした努力が支えとなり、認定講習会は今後全国各地で行われます。

(広報部会 部会長 永田 則男)